

だれもが誰かとつながる町をめざして

2019年9月の地域包括支援センター大森 トピックス

第16回 日本高齢者虐待防止学会 ～助けを求めない人への支援～ 特集

9月7日(土) 会場 / 東邦大学看護学部

第16回 日本高齢者虐待防止学会
蒲田大会
 高齢者虐待防止 ～助けを求めない人への支援～
大会長 岸 恵美子 (東邦大学 看護学部 教授)

日時 **2019年9月7日(土) 9:30～17:30**
 会場 **東邦大学 看護学部 東京都大田区大森西4-16-20 (京浜東北線 蒲田駅)**

大会長講演 岸 恵美子
 「助けを求めない人への支援 ～セルフ・ネグレクトの視点から～」
 教育講演 春日 武彦 (医療法人社団成仁 成仁病院)
 「助けを求めない人に援助者はどう向き合うか」

基調講演・ランチョンセミナー 調整中
 シンポジウム
 I: 「セルフ・ネグレクトを予防するまちづくり」
 II: 「高齢者虐待対応における本人・養護者の意思決定支援」
 分科会
 I: 「認知症高齢者を支援する地域連携とネットワーク」
 II: 「施設における虐待予防のためのリスクマネジメント」
 III: 「ヤングケア・ダブルケア～介護の現実と支援の課題～」
 IV: 「法制度改正に向けた現状と課題」
 演題発表 高齢者虐待防止、認知症対策、地域づくり等に関する実践報告・研究報告

9/6 (金) 市民公開講座 16:00-17:30 (予定)
ダブルケア・ヤングケアで悩まないために (仮)

後援 (予定) 厚生労働省 法務省 大田区
 成年後見センター・リーガルサポート東京支部 他
 学会詳細 : 日本高齢者虐待防止学会ホームページ <http://www.japea.jp>
 (10月頃 大会特設ページ開設予定)
 学会事務局 : 東邦大学 看護学部 公衆衛生看護学研究室
 お問い合わせ先: NPOシルバー総合研究所 E-mail: info-japea@silver-soken.com
 日本高齢者虐待防止学会 事務センター ☎ 048-711-7144



16:50～17:50 分科会Ⅲ 第1会場
認知症高齢者を支援する地域連携とネットワーク

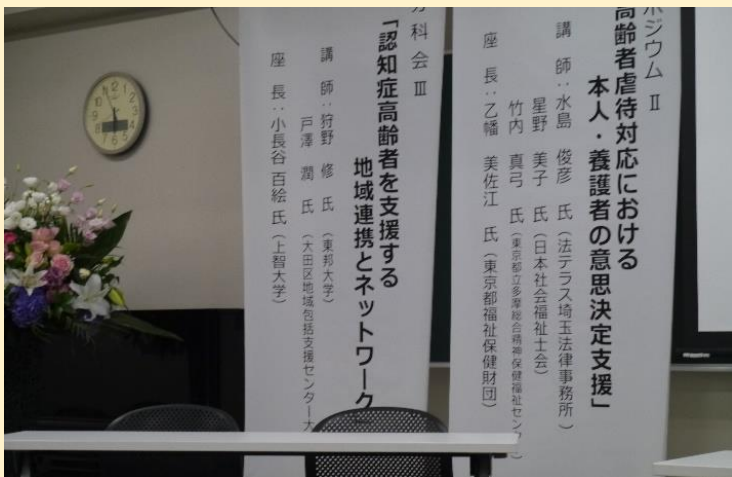
座長: 小長谷 百絵 (上智大学)

「大学病院おたっしや (認知症) ケアチーム医師の立場から」
 狩野 修 (東邦大学 医学部 内科学講座 神経内科学分野)

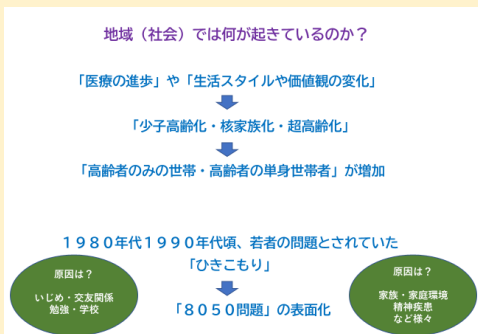
「地域包括支援センター認知症地域支援推進員の立場から ～だれもが誰かとつながる町をめざして～」
 戸澤 潤 (大田区地域包括支援センター大森)

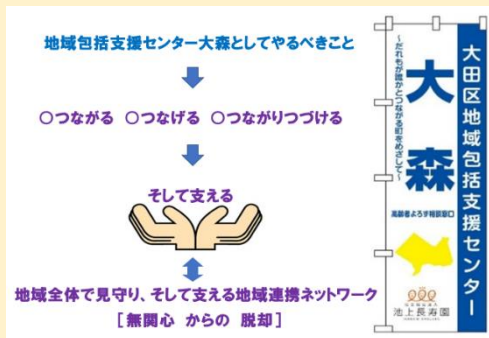
東邦大学看護学部を会場に、日本高齢者虐待防止学会が開催され、約400人の参加者により、シンポジウム、分科会、演題発表等がおこなわれました。地域包括支援センター大森からは、戸澤所長が分科会Ⅲの講師として出席、東邦大学医学部狩野教授とご一緒させていただき、認知症高齢者を支援する地域連携とネットワークという演題で講演とフロアとのディスカッションをさせていただきました。

分科会Ⅲには100人以上の参加があり、講演の後は、たくさんの質問が寄せられ、活発な議論ができました。

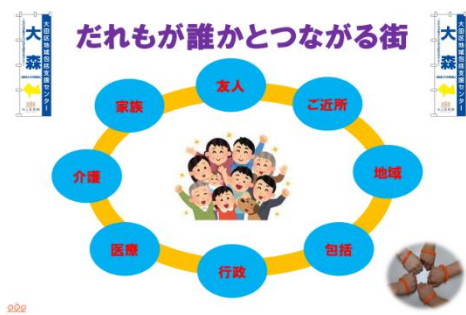


地域では認知症、孤独死、ひきこもり・8050問題、消費者被害、老々介護、虐待など様々な課題が発生しています。これらの課題と向き合っていると、あるキーワードにたどり着きます。それは「つながり」です。誰かとどこかと一本の糸でもつながっていたらSOSを出せたのでは、SOSに気付けたのではないかな…





日々の体験をもとに、「だれもが誰かとつながる町をめざして」という大森西への熱いメッセージを語ってくれました。
(分科会Ⅲに参加した職員の感想)



大学病院と地域包括支援センターのコラボレーションというのは興味深いですね。
(分科会Ⅲ 上智大学 小長谷座長)



大学病院と連携する医療機関がたくさんあって、地域包括支援センター大森があって、大森西で暮らしている方は幸せですね…
(分科会Ⅲに参加された方の声)

「だれもが誰かとつながる町をめざして」この言葉は、地域包括支援センター大森、全職員の大森西の地域の皆さんに対する強い想いを表しています。

私たちは、地域包括ケアシステムの構築・深化、共生社会の実現を目指して課題解決のとりくみを未来への礎とすべく日々地域を走り回っています。(抄録から抜粋・加筆)



12日 三都連ふれあいサロン
大森西のNIWAさんと介護予防!



おももり
キャラクター
ひまわりん

27日
シニアのためのヨガ教室

